

グラフで見る東海経済(2021年6月)

2021年6月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調

【今月のポイント】

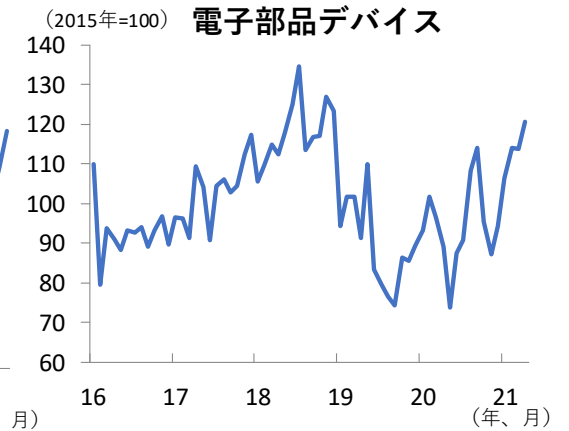
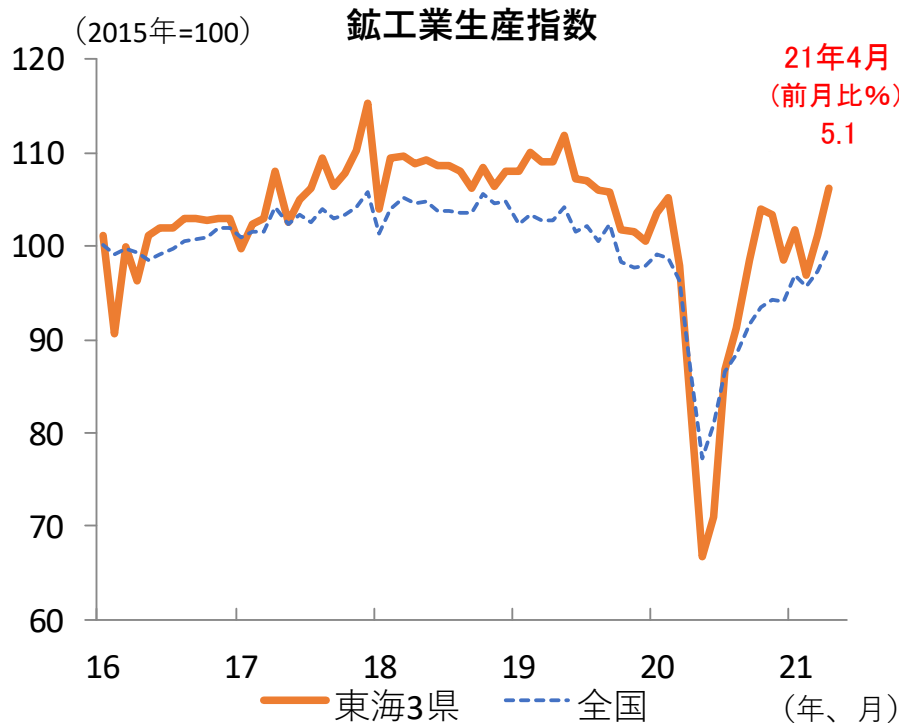
- 生産(4月)は、輸送機械など主要業種の増加により2ヶ月連続で増加。
- トヨタの国内生産は、足下は半導体不足から減少となるが、その後は持ち直しが見込まれている。
- 実質輸出(4月)は2ヶ月ぶりに減少となったが、先行きは持ち直しが見込まれる。
- 財の消費を示す小売売上は、コロナ禍で前年が低水準のため前年比増加となっているが、総じて弱含み。

項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調
生産	持ち直し基調(↑:足踏み状態)
輸出	持ち直している
設備投資	弱含んでいる
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	弱含んでいる
住宅投資	横ばい
公共投資	横ばい圏で推移している

注: ()内は前月からの変化の方向と前月判断

生産

4月の鉱工業生産(東海)は前月比+5.1%と2ヶ月連続で増加し、持ち直しの動きがみられる。業種別では輸送機械、汎用・生産用・業務用機械などが増加した。

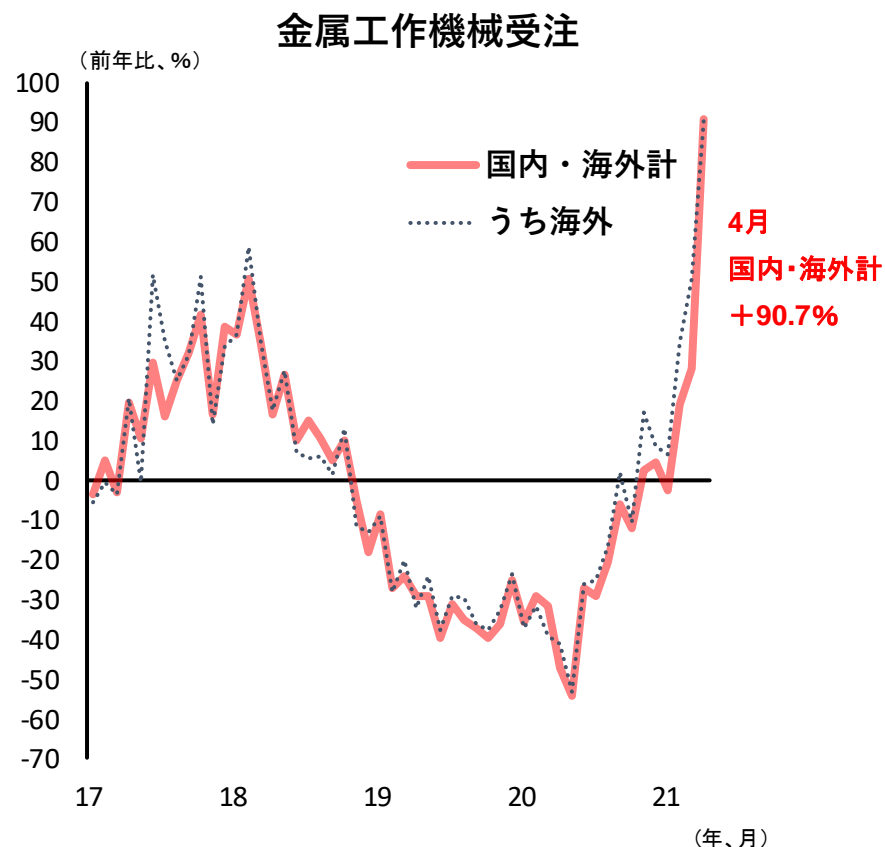
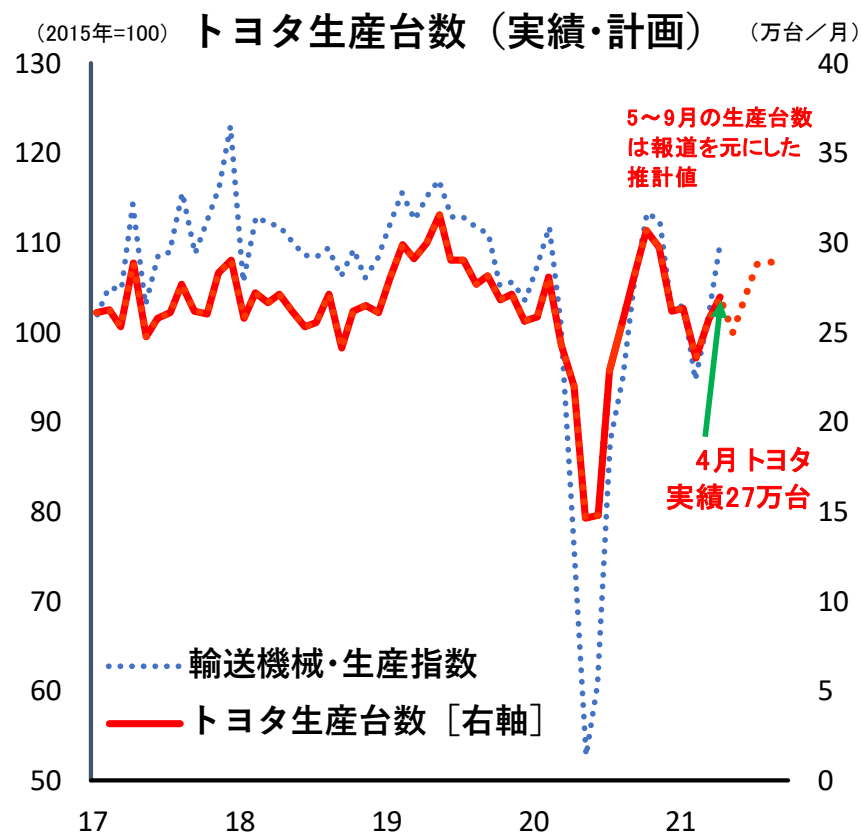


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（トヨタ生産計画、金属工作機械）

4月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は27万台と前月から増加した。先行きについては、足下は半導体不足により減産となるが、その後は持ち直しが見込まれる。

4月の金属工作機械受注は、前年比+90.7%と3ヶ月連続で前年を上回った(一昨年とほぼ同水準)。国内向けは同+90.9%と29ヶ月ぶりに増加し、海外向けは同+90.5%と6ヶ月連続で増加した。



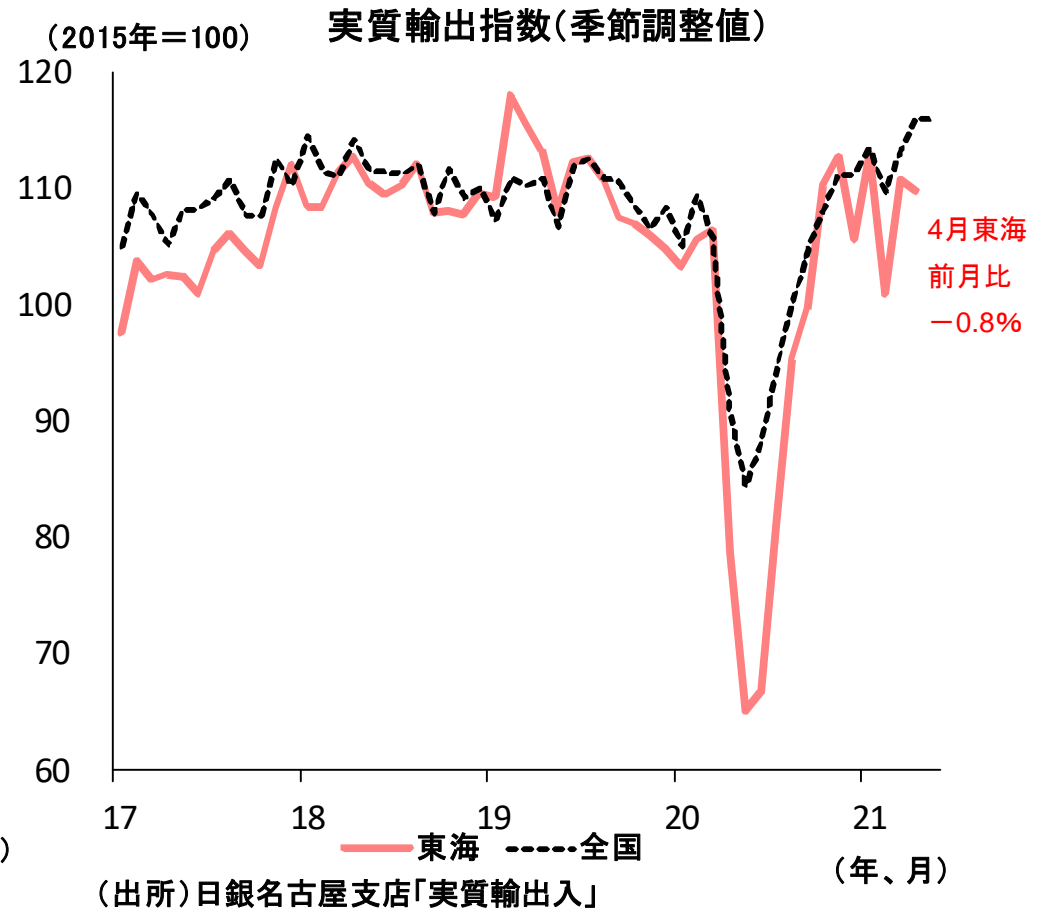
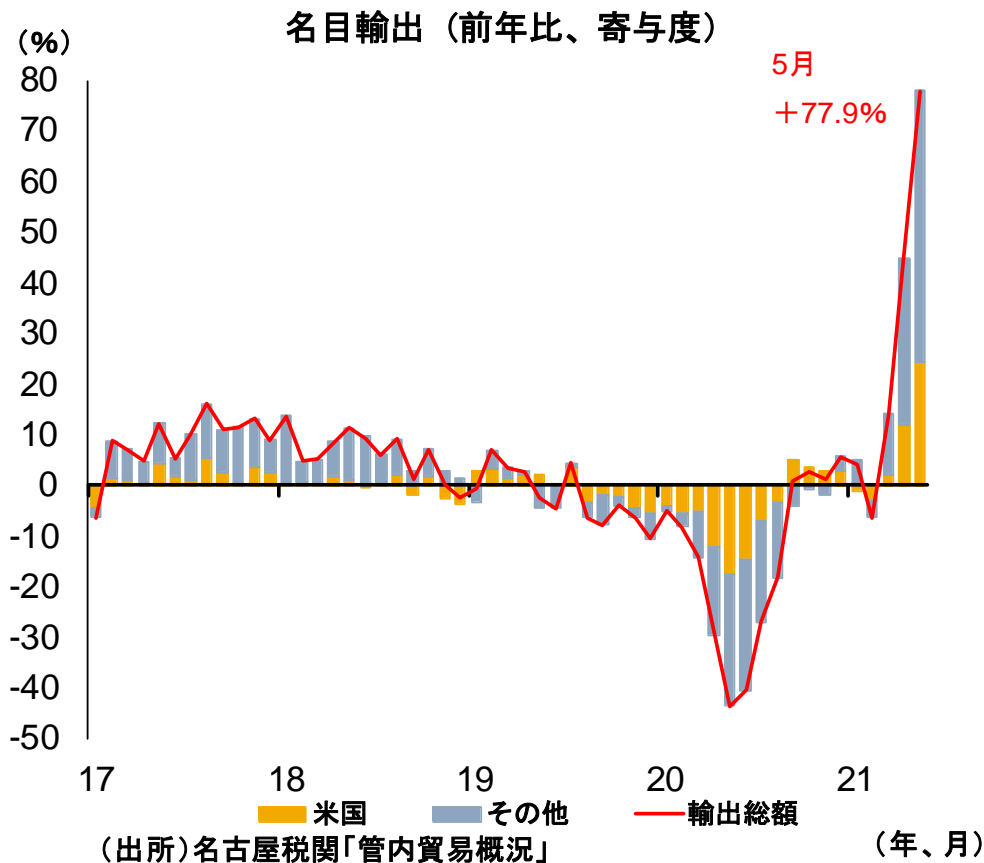
(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注」

(注) トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県 (年、月)
(出所) 中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」、鉄鋼新聞

輸出

5月の名目輸出額は、前年の水準が低かったこともあって、前年比+77.9%と3ヶ月連続で大幅増（一昨年比では+0.3%）。地域別では米国、アジア、EUなど主要地域向けが、品目別では自動車部品、自動車などが増加した。

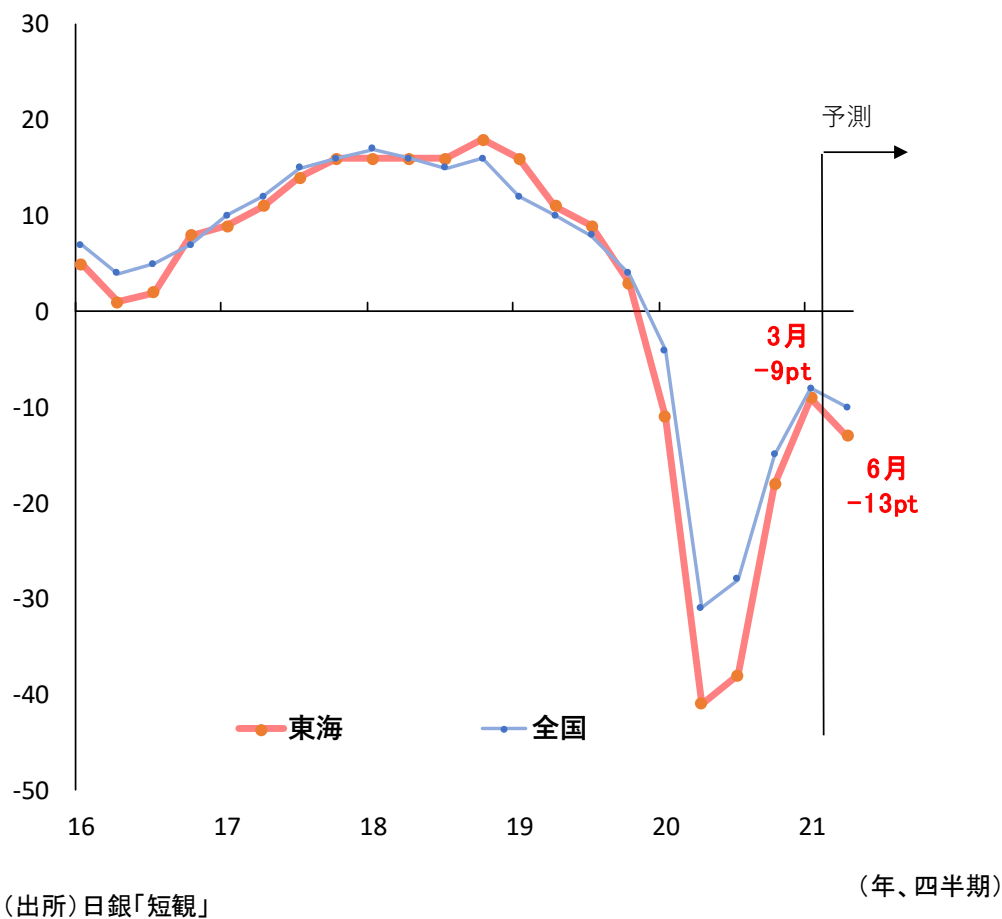
4月の実質輸出指数（季節調整値）は前月比-0.8%と2ヶ月ぶりに低下した。



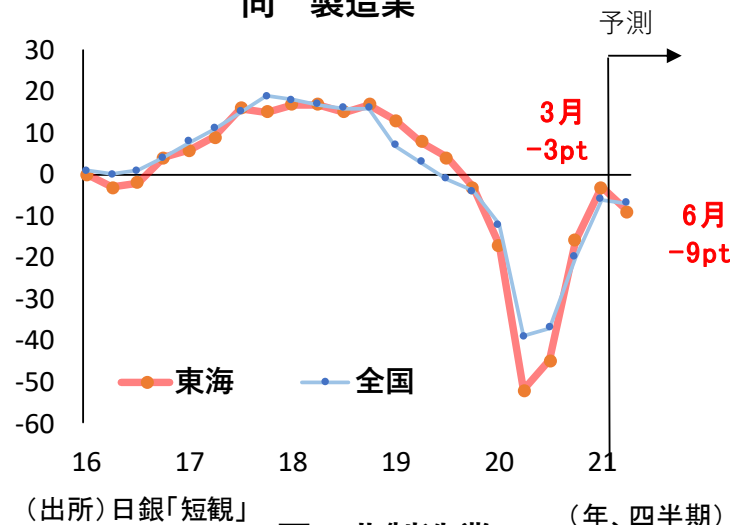
企業景況感(日銀短観) ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査の業況判断DIIは全産業で-9ptと、12月調査から改善した。製造業は-3pt、非製造業が-17ptと改善した。先行きは、製造業で悪化、非製造業で横ばいが見込まれている。

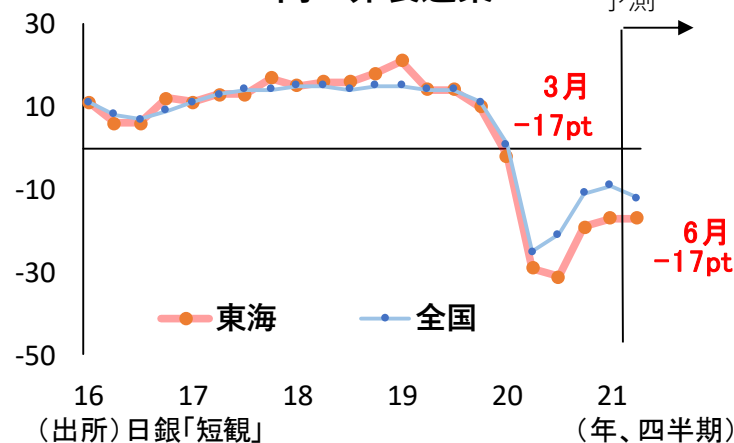
短観 業況判断DII「全産業」



同 製造業

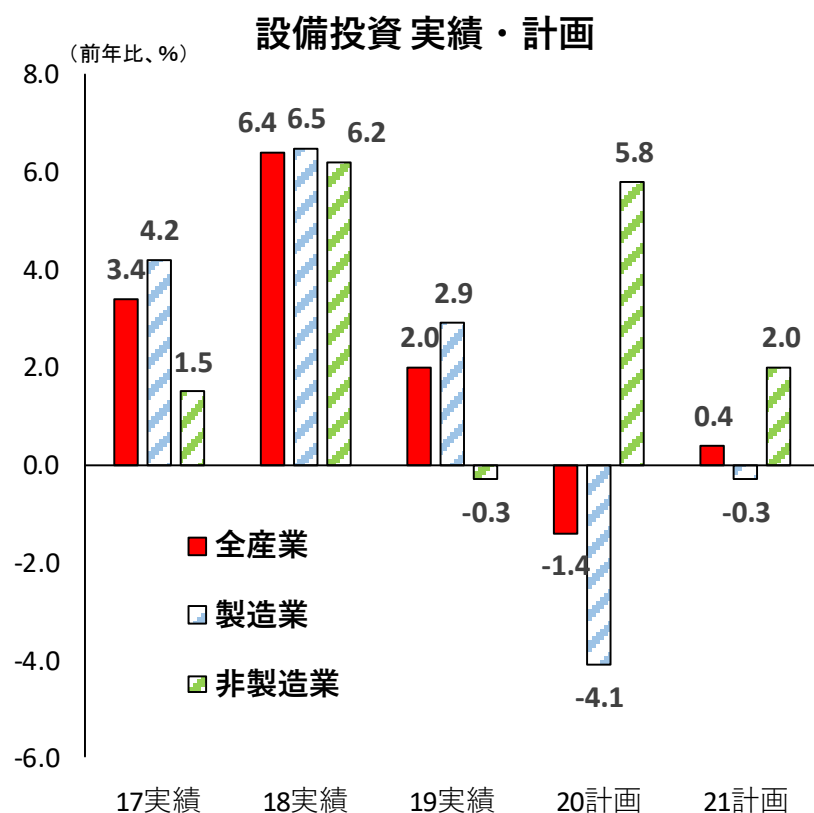


同 非製造業



設備投資 ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査によると、20年度の設備投資は、製造業が前年比-4.1%、非製造業は同+5.8%、となる見込み。全産業では同-1.4%と12月調査から上方修正。21年度は、製造業が減少、非製造業が増加となり、全体では増加の計画。対個人サービスが大幅減となる一方、不動産が20年度に続き大幅増の計画となっている。



設備投資額（前年比%）

	19年度 実績	20年度 計画			21年度 計画
		今回	12月調査時 [差異]		
全産業	2.0	-1.4	-2.2	0.8	0.4
製造業	2.9	-4.1	-4.0	-0.1	-0.3
非製造業	-0.3	5.8	2.8	3.0	2.0

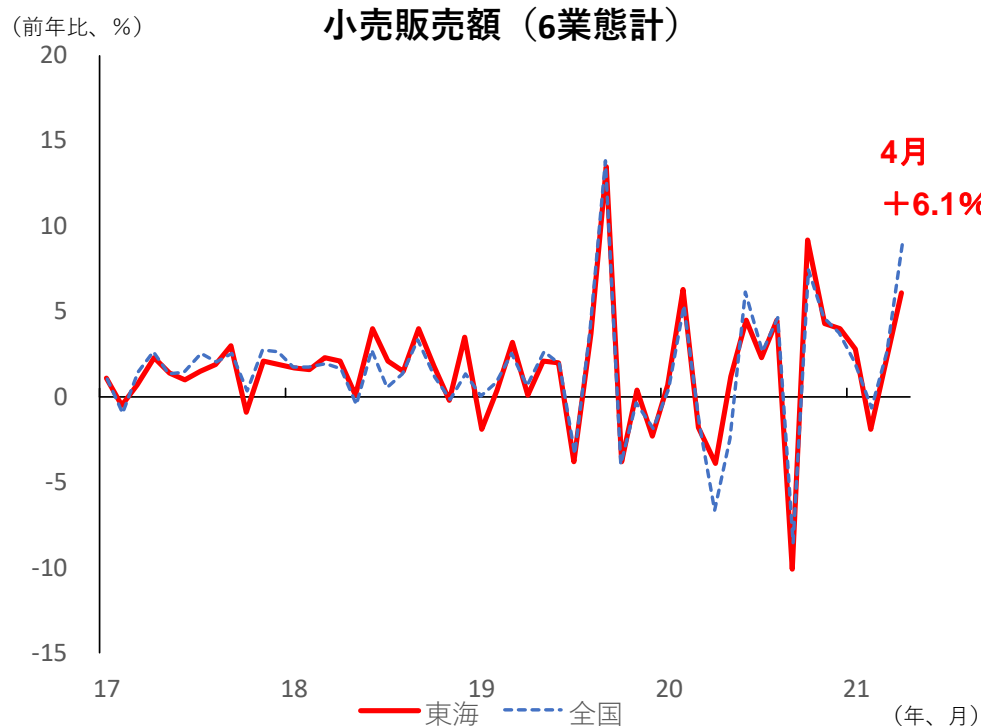
(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

個人消費(小売売上、自動車販売)

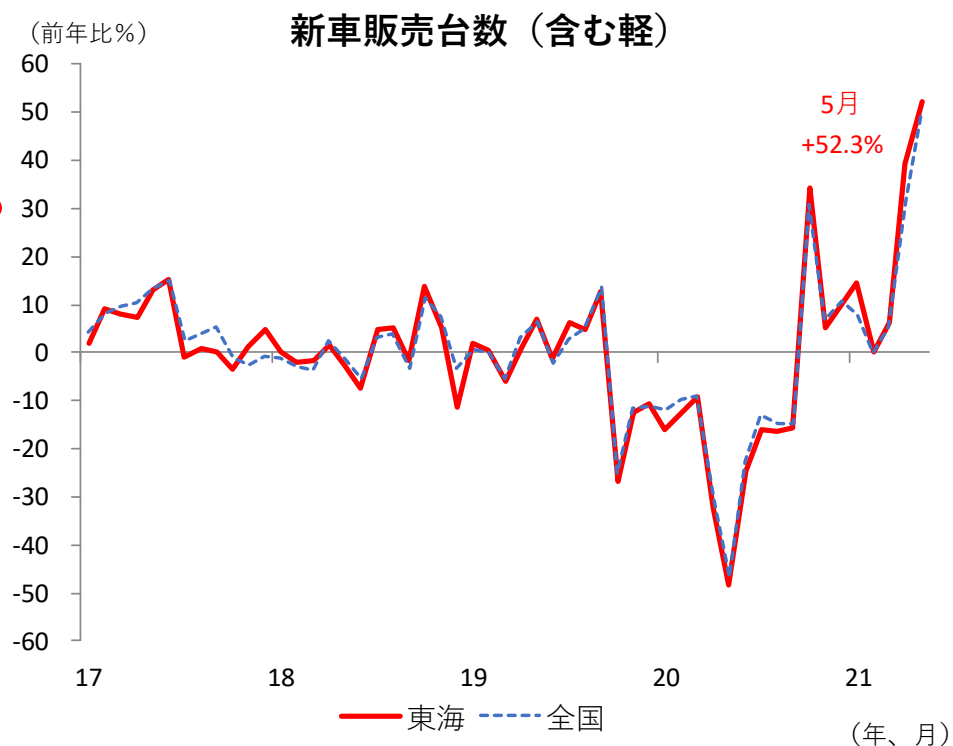
4月の小売販売額は前年比+6.1%と2ヶ月連続で増加した(一昨年比では+1.9%)。百貨店、コンビニ、家電が増加した。

5月の新車販売は前年の水準が低かったこともあり前年比+52.3%と大幅に増加したが、一昨年比では-20.5%と基調は強くない。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

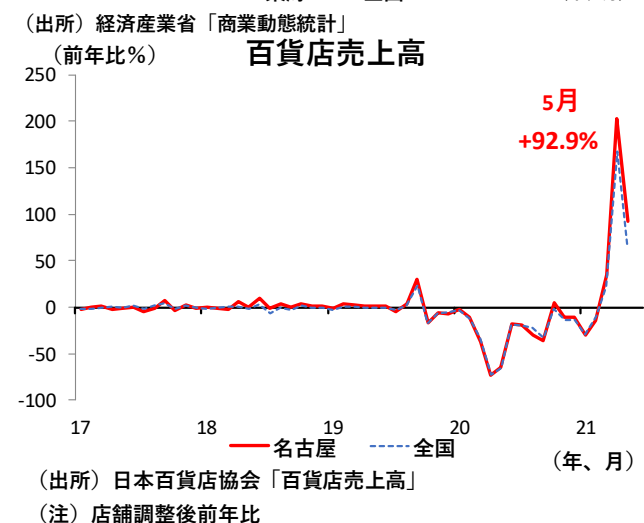
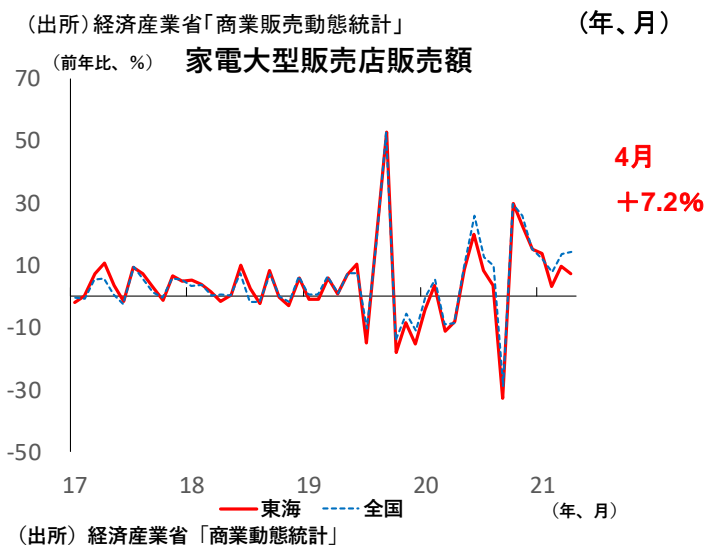
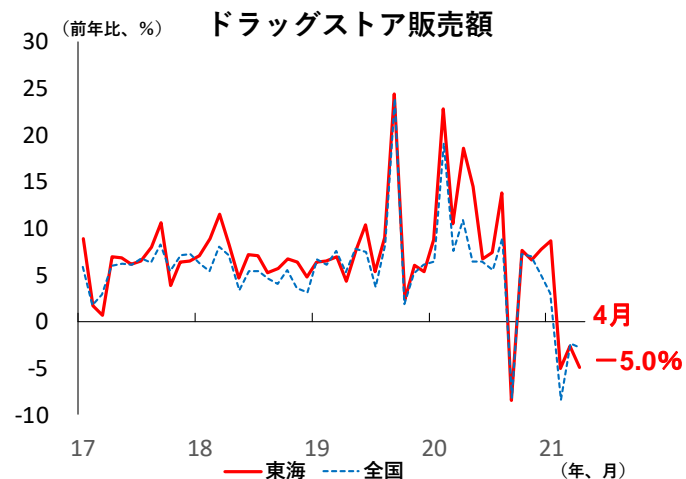
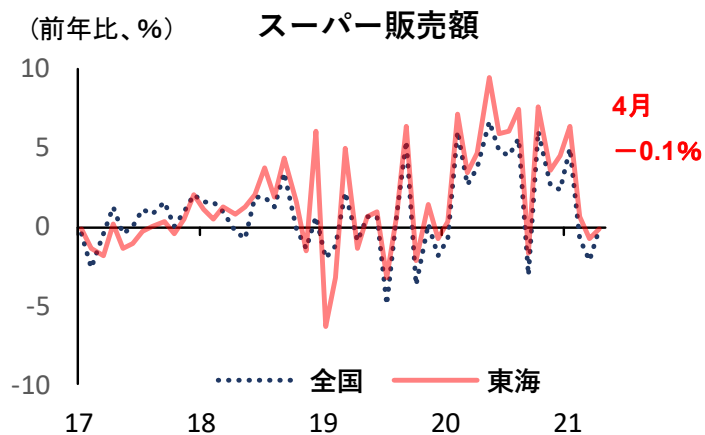


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

東海の小売販売額(4月)を業態別に見ると、家電販売店は増加したが、スーパー、ドラッグストア等は減少した。5月の百貨店売上(名古屋)は前年比+92.9%と3ヶ月連続で増加。前年同月がコロナ禍で低水準であったため前年比では大幅増となったが、一昨年比では-31.9%減と低水準で、消費の回復が遅れている。



マインド・景況感

5月の消費者態度指数は35.9(前月差+0.4%pt)と2ヶ月ぶりに小幅上昇した。
5月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、41.8(前月差+0.8 %pt)と2ヶ月ぶりに上昇した。新型コロナウイルス感染症再拡大が続く中、景況感はほぼ横ばいとなっている。先行きについては、ワクチン接種が進むことによる改善が期待されている。



(注)東海の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」



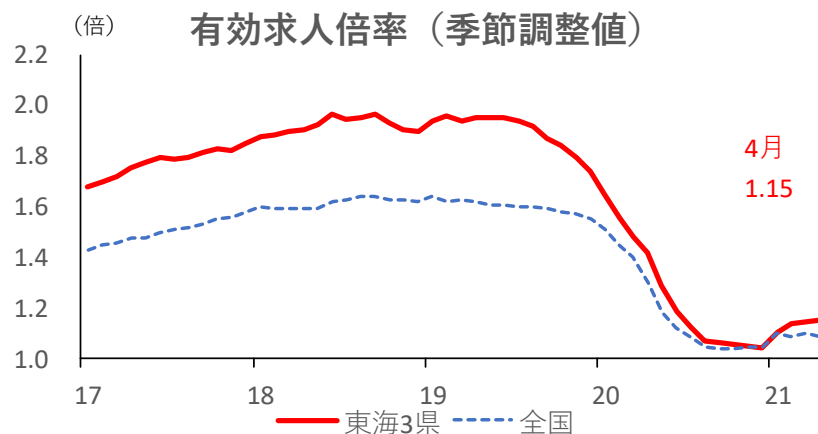
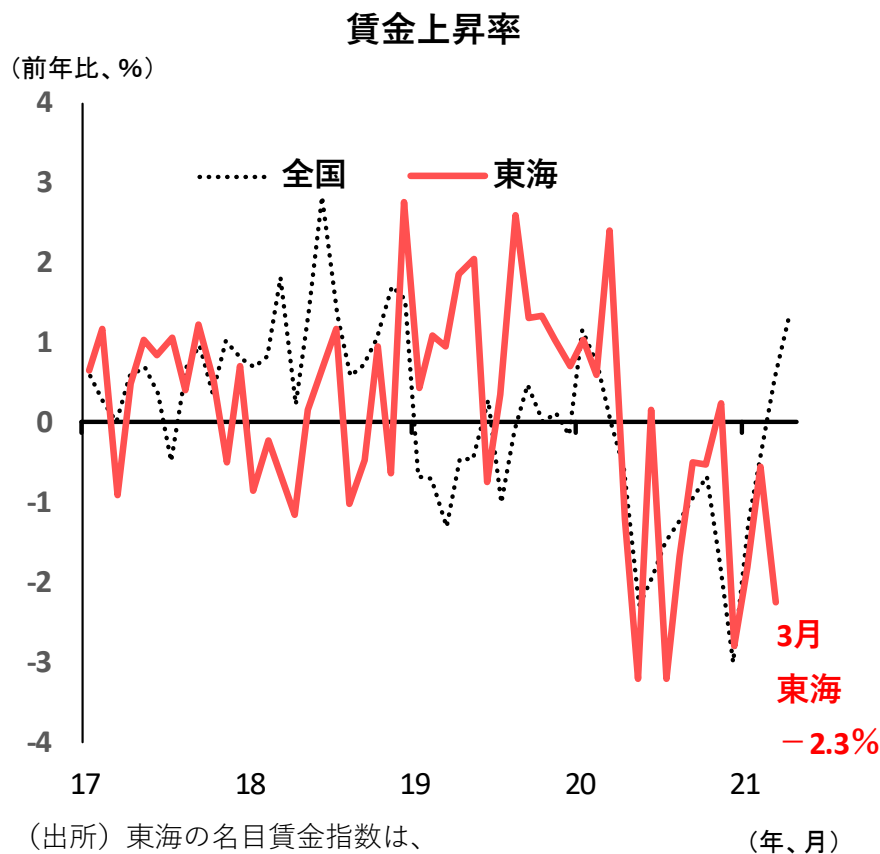
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

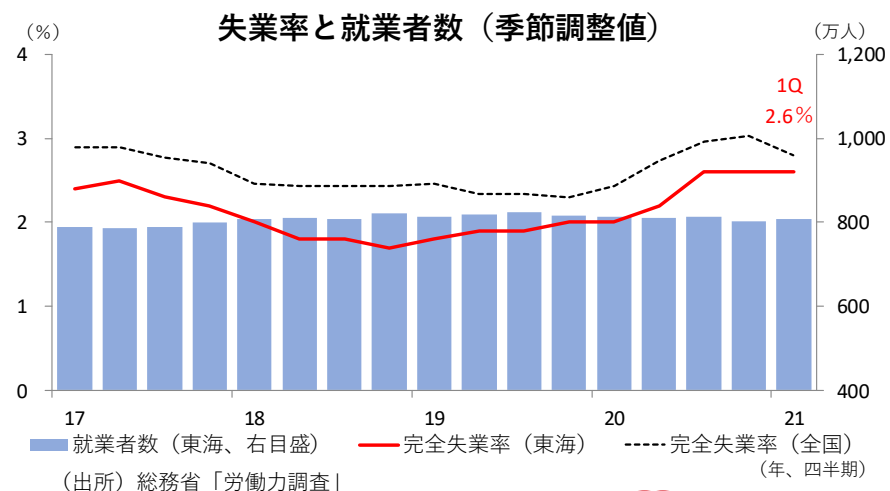
3月の名目賃金指数は、前年比-2.3%と4ヶ月連続で低下した。

4月の求人倍率は1.15と前月から小幅上昇。求人数、求職者数ともに増加した。

21年1-3月期の失業率は2.6%と横ばい。就業者数は小幅増加した。

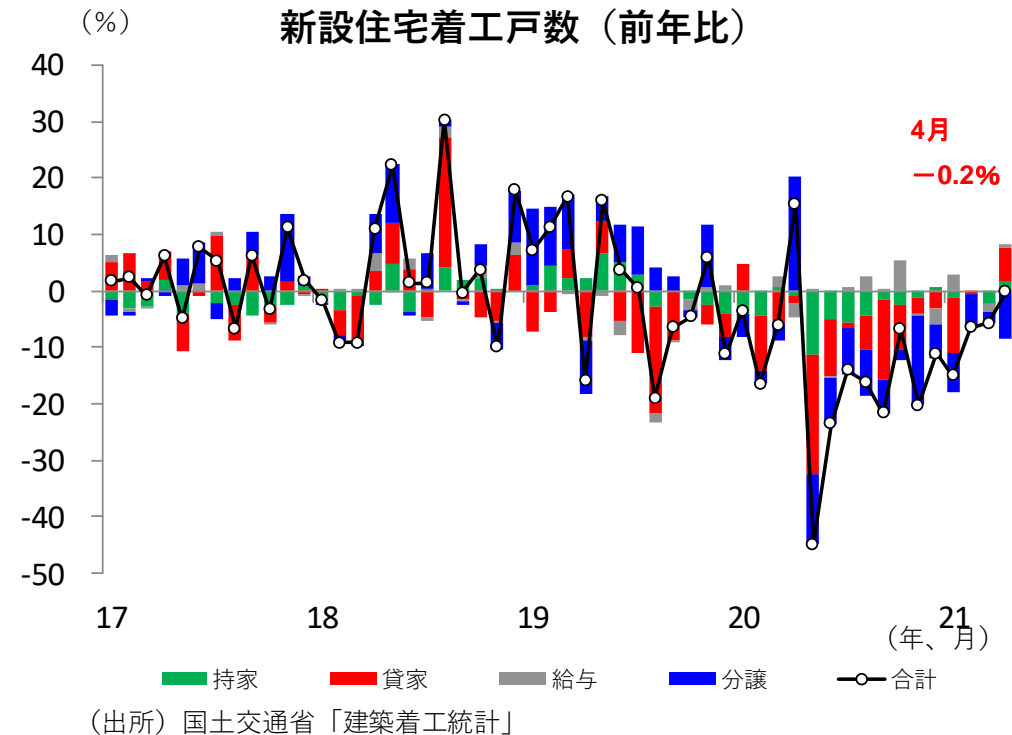
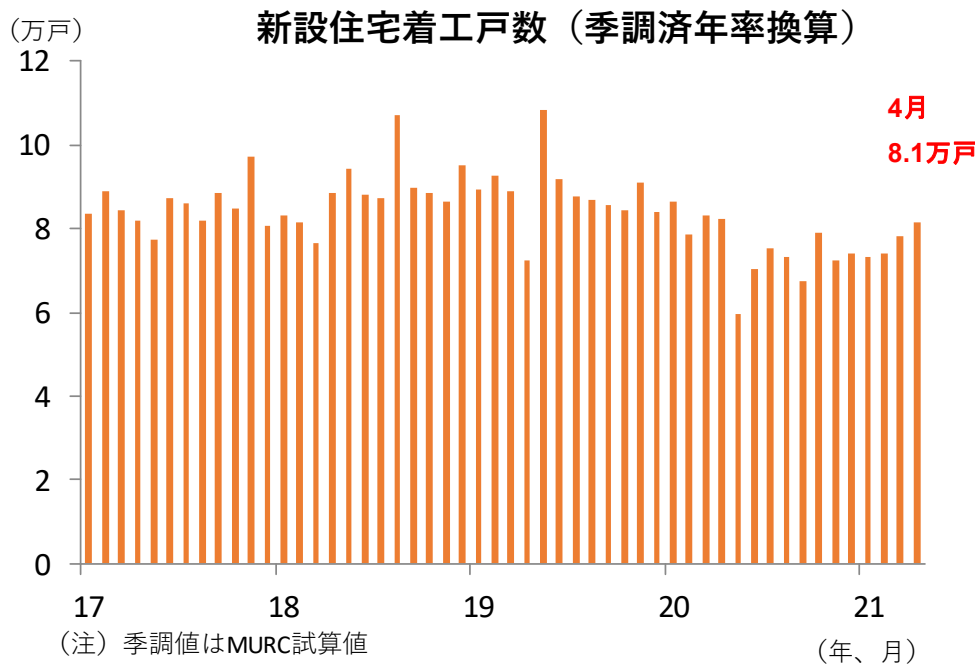


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



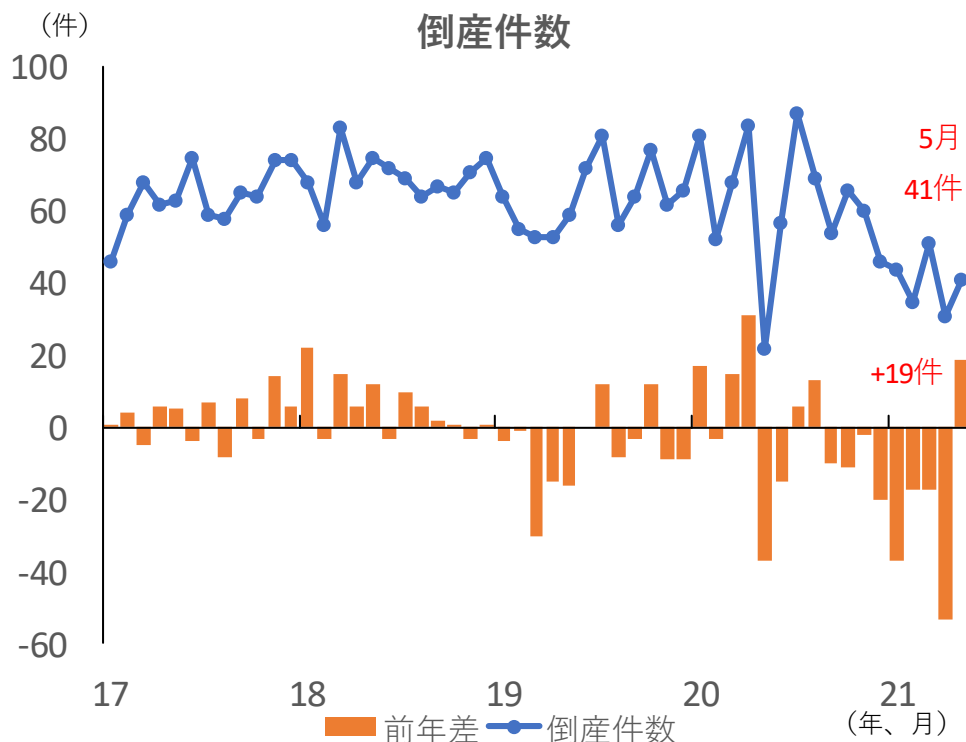
住宅投資

4月の住宅着工は季調・年率で8.1万戸と3ヶ月連続で増加した。原数値では前年比-0.2%と小幅ながら12ヶ月連続で減少。持家、貸家が増加したが、分譲が減少した。



倒産

5月の倒産件数は前年同月が裁判所の業務停止により低水準であったことから、前年差で9ヶ月ぶりに増加となったが、件数は低水準で推移。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

公共投資は均してみると横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

(年、月)

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください